

◆岡山大学法学部だより◆

※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生および岡山大学法学部ホームページから登録された方にお送りしています

第 149 号(2019 年 4 月 2 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

=====

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

-----

○新入生のみなさんへ

-----

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。

岡山大学は戦後間もない 1949 年に新制大学として誕生し、今年で創立 70 周年を迎えます。本学は、旧制第六高等学校を前身とし、本学部も、この六校の知的伝統をひき継いで、現在、全国有数の法学教育の拠点としての役割を果たしております。第六高等学校は明治 33 年に中四国で初の旧制ナンバースクールとして発足し、卒業生の中には、刑法学者の団藤重光や国際法学者の田岡良一といった高名な法学者がおります。新制大学として発足した岡山大学は、今日まで、数多の人材を社会に輩出しており、ここ法学部からも、多くの卒業生が、官界、財界、法曹といった各界の第一線において活躍しております。

この 4 月に入学された新入生の皆さんは卒業後の具体的な進路についてまだはっきりと決めてはおられない方が多くおられるのではないかと思います。これから本学での教養教育、さらに、専門教育を段階的に学んでいられる中で、自らが卒業後にどのような道を歩んでいられるのか、これからの日々の勉学を通じて少しずつ見定めていって頂けたらと思います。本学部では、平成 28 年度入学生からコース制による法学教育の基本的な枠組みの下、3 年次より、「公共法政」「企業法務」「法律専門職」の 3 コースの中から一つを選択するコースワーク教育に基づく体系的なカリキュラムを導入しており、これから、教養科目や専門基礎的な講義を受講していかれる中で、自らがどのコースを選択するのか、卒業後の進路との関係でしっかりと見定めていって頂けたらと思います。私自身の担当は国際政治学ですが、冷戦後の今日、グローバル化をめぐる様々な議論がますます高まりを見せている状況の中、国際法をはじめとするグローバル法政科目についても受講して頂き、できれば、学部生の中に長短期の海外留学にお出かけになられることをお勧めします。岡山大学には、学部生の海外留学を支援する全学や学部の取組みがあり、ご自身がそれを望むのであれば、比較的容易に海外での就学体験の機会をもつことができます。

現在は、時代の変化があまりにめまぐるしく、世相としてはとても不安定な状況にあるとのネガティブな指摘もありますが、こうした大きく変転する時代であればこそ、若い皆さんにとって、ご自身の能力を大いに試すことのできる好機でもあると言えます。岡山は「晴れの国」と言われ、上記の六校の寮歌にも謳われているように、「桜花咲く」温暖なところですよ。平成という時代が終わり、「令和」という新たな時代を迎えようとしている桜咲くこの 4 月、新入生の皆さんがここ岡山大学でのこれからの学生生活を真に実りあるものとしてお過ごしになられますことを心より願っております。

法学部長 河原 祐馬